

第127期 報告書

2024年4月 1 日から
2025年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108



**NITTEN
AGREEN
STRATEGY**

※「アググリーン」とは「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です。
「日甜アググリーン戦略」につきましては、当社ホームページをご参照ください。
<https://www.nitten.co.jp/company/agreen-strategy/>

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は去る3月31日をもって第127期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。

2025年6月



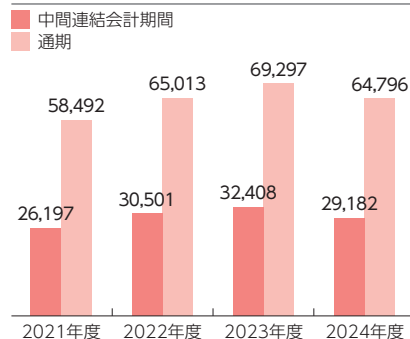
取締役社長 石栗 秀

当連結会計年度のわが国経済は、デフレ脱却に向けた歩みが進み、インバウンド需要の増加等、景気は緩やかな回復の兆しがみられるものの、物価上昇の継続による消費マインドの下振れやアメリカの通商政策等、先行きが不透明な状況が続いております。

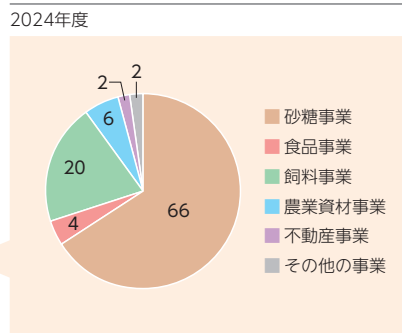
砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や、物価高の影響等があったものの、堅調なインバウンド需要による外食や観光業の回復に伴い、砂糖需要はやや持ち直しました。

当連結会計年度は、主に砂糖事業の売上減少により、売上高は前期比6.5%減の647億9千6百万円となり、営業利益は飼料事業で増益となったものの、砂糖事業、農業資材事業および不動産事業の減益により、前期比41.2%減の5億3千5百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失で減損損失が増加したものの、特別利益での固定資産売却益の計上により、前期比49.2%増の27億3百万円となりました。

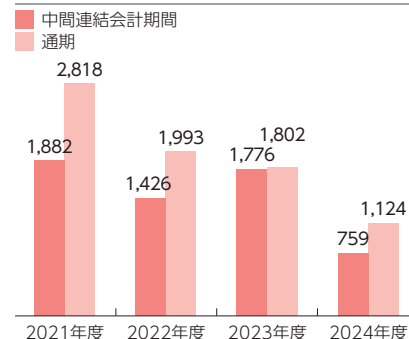
売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



2022年12月、政府は2026砂糖年度までに、てん菜・てん菜糖に係る政策支援数量を砂糖量にして64万トンから55万トンへ漸減させることを決定しました。砂糖を主な事業とする当社グループにとりましては、非常に厳しい決定となっております。

さらに、猛暑等の影響を大きく受けた2023年産てん菜の記録的な低糖分や肥料価格の高止まり等による収益の悪化も相まって、てん菜栽培に不安を抱く生産者のてん菜離れが進み、2024年も作付面積は減少しております。

てん菜の作付面積減少は、当社の主業であるビート糖事業の根幹であるてん菜生産力の減少につながることから、作付面積減少に歯止めをかけるべく、気候変動や病害虫に耐えうる新たなてん菜品種の導入や、農作業の省人・省力化に資する栽培技術の開発など、生産者所得の向上によりてん菜栽培を選択してもらうための取り組みを進めております。

当社グループは、このような著しい外部環境の変化に適應する経営戦略の再構築が急務と捉えており、今まで以上のコスト削減への努力に加え、適正価格での販売を含めた事業基盤の強化に取り組んでまいります。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末 2024年3月末現在	当期末 2025年3月末現在
資産の部		
流動資産	50,931	51,318
固定資産	52,090	49,896
有形固定資産	24,276	20,242
無形固定資産	547	1,557
投資その他の資産	27,266	28,096
資産合計	103,022	101,215
負債及び純資産の部		
流動負債	19,554	16,435
固定負債	10,932	10,949
負債合計	30,487	27,385
純資産合計	72,535	73,829
負債及び純資産合計	103,022	101,215

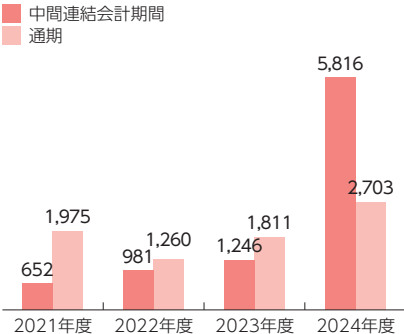
連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

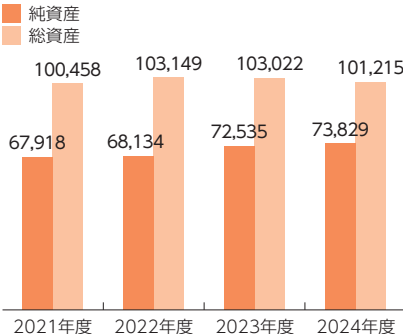
	前 期 2023/4/1～2024/3/31	当 期 2024/4/1～2025/3/31
売上高	69,297	64,796
売上原価	55,515	51,575
販売費及び一般管理費	12,870	12,684
営業利益	910	535
営業外収益	1,069	879
営業外費用	177	290
経常利益	1,802	1,124
特別利益	1,979	8,645
特別損失	1,149	5,817
税金等調整前当期純利益	2,633	3,952
法人税等	821	1,248
当期純利益	1,811	2,703
親会社株主に帰属する当期純利益	1,811	2,703

親会社株主に帰属する

当期(中間)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



※決算状況の詳細については2025年5月14日に当社ホームページにて公表いたしました2025年3月期決算補足説明資料をご覧ください。

<https://www.nitten.co.jp/ir/library/financial/>



事業別の概況

砂糖事業

事業内容 | ビート糖、精糖
ビート糖蜜、精糖蜜 等

ビート糖は、販売価格は上昇したものの、2023年の猛暑等による前年度産原料てん菜の低糖分により砂糖生産量が大きく減少したため、売上高は前期を下回りました。また、依然として製造原価が高止まりしていることに加え、当年度産原料てん菜は前年度を上回る数量、品質を確保したものの、原価率の高い原料糖生産も増加することから、原料糖在庫に対する棚卸資産評価損が増加しました。

精糖は、販売数量は減少したものの、適正価格での販売とコスト削減に努めたため、売上高、利益ともに前期を上回りました。

砂糖事業の売上高は、428億9千7百万円(前期比9.3%減)となり、15億9千8百万円の営業損失(前期は5億5千2百万円の営業損失)となりました。

<製品紹介>

北海道まるやか てんさい糖



北海道オホーツク産てん菜のみを使用。第78回ジャパン・フード・セレクション(2024年8月)において、最高評価である「グランプリ」を受賞いたしました。

食品事業

事業内容 | イースト、オリゴ糖等食品素材
(オリゴ糖、ベタイン 等)
その他食品

イースト、オリゴ糖等食品素材は、販売数量の増加により、売上高は前期を上回りました。

食品事業の売上高は、27億円(前期比3.3%増)となり、2億2千1百万円の営業利益(前期比17.9%増)となりました。

<食品販売部公式X(旧ツイッター)開設>



2024年10月31日より、食品販売部公式Xアカウントを開設いたしました。

Xでは当社製品を使用したレシピ紹介や商品紹介を中心に、皆さまのお役に立つ情報を発信しております。

飼料事業

事業内容 | 配合飼料
ビートパルプ 等

配合飼料は、牛乳の生産抑制解除による需要回復と営業努力により、販売数量は前期を上回ったものの、値下げの影響により、売上高は前期をやや下回りました。

ビートパルプは、原料てん菜の収量増加に伴う増産により、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

飼料事業の売上高は、128億5千8百万円(前期比1.5%増)となり、販売数量の増加に加え、コスト削減にも努めたことにより、12億2千1百万円の営業利益(前期比903.3%増)となりました。

<製品紹介(名称変更)>

「コウシのミカタ®」は、「イムノアクセル®」に名称変更いたしました。

【Immuno 免疫(力) Accel 加速する】と名前から製品の特徴がイメージできるようにリニューアルしました。

製品の内容、品質、価格等に変更はございませんので、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。



※初乳中の免疫グロブリンの吸収を促進するオリゴ糖を原料とした初乳用添加剤で、初乳に混ぜて給与するだけで仔牛を健康に育てることができます。

農業資材事業

事業内容

紙筒(ペーパーポット®)
農業用機械器具、農業資材、種子 等

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、そ菜用は販売数量がやや減少も一部値上げにより売上は前期並みとなりましたが、ビート用で販売数量が減少し、売上高は前期を下回りました。

農業機材は、移植機材・播種機材等の売上増加により、売上高は前期を上回りました。

農業資材事業の売上高は、39億2千8百万円(前期比2.1%増)となりましたが、棚卸資産評価損の発生等により、5千万円の営業損失(前期は1億7千9百万円の営業利益)となりました。



SNSでの情報発信にも力を入れており、Instagramでは1.9万人のフォロワーを獲得するなど国内・外の方々に多くご視聴いただいております。



- 子会社 サークル機工株式会社は農業用機械器具を製造販売しております。一方で、培った技術を活かしてアウトドアブランドを立ち上げ、同社直営ECサイトにて自社制作したキャンプ用品等を販売しております。
<https://storecircle.theshop.jp/>

不動産事業

事業内容

不動産賃貸 等

不動産事業は、一部賃貸物件の稼働率低下により、売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

不動産事業の売上高は、12億3千3百万円(前期比15.7%減)となり、営業利益は6億2百万円(前期比33.4%減)となりました。

その他の事業

事業内容

貨物輸送、石油類販売、
スポーツ施設営業 等

その他の事業は、書店販売事業からの撤退により、売上が減少したものの、貨物輸送のコスト削減により、営業利益は前期を上回りました。

その他の事業の売上高は、11億7千7百万円(前期比16.1%減)となりましたが、営業利益は1億8千5百万円(前期比183.6%増)となりました。



十勝鉄道株式会社 運送車両

第2次日甜グループ中期経営計画の見直し（2025年度～2027年度）

2025年5月14日公表の「第2次日甜グループ中期経営計画の見直し（2025年度～2027年度）」において、当社の資本収益性の現状認識ならびに改善に向けた方針等を記載しております。詳細につきましては、当該資料をご参照願います。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_medium_term_plan_revise_20250514.pdf

第2次中期経営計画の目標値

- ▶ てん菜を取り巻く現状を鑑み、収益体質の改善を図ることも踏まえた目標値に修正
- ▶ 資本収益性の向上を意識し、新たにROE目標を設定

	2024年度実績	旧2027年度目標	新2027年度目標
目標値			
営業利益	5億円	24億円	30億円
ROE	3.7%		5%以上
株主還元		1株当たり配当金 50円以上	1株当たり配当金 80円以上

全体概要

第2次中期経営計画 基本方針

持続可能な**てん菜産業の創造にチャレンジ**し、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく

事業戦略

▶ 成長事業の拡大加速

- 飼料事業
 - ✓ 独自素材DFAⅢの海外展開
 - ✓ ビートパルプの多用途展開
 - 農業資材事業
 - ✓ 有機農業用資材の新商品開発・海外展開
 - ✓ てん菜由来の有用物質を活用した商品の拡販
 - 食品事業
 - ✓ BtoC市場での販売強化
 - ✓ 国産ドライイーストの市場開拓
 - ✓ 新たな機能を有する製品の開発
- ##### ▶ 基盤事業の収益構造改善
- 砂糖事業
 - ✓ 省エネ・省人・省力化、販売強化
 - 不動産事業
 - ✓ 安定的な収益確保

資本・財務戦略

- 政策保有株式の縮減
- キャッシュアロケーションの策定
- 株主還元の拡充
- 適切なバランスシートコントロール

非財務戦略

- 持続可能な農業への貢献
- 気候変動への対応
- 資源の有効活用
- 食の安全・安心
- 働きやすい環境の実現
- 地域社会への貢献

会社概要・株式情報 (2025年3月31日現在)

会社概要

商 号	日本甜菜製糖株式会社	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設 立	1919(大正8)年6月	
資 本 金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数 当社の従業員数	775名 634名 ※上記には臨時従業員は含まれておりません。
子 会 社	名 称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	土別スズランファーム株式会社	農産物の生産・販売

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,176千株	9.45%
明治ホールディングス株式会社	993	7.98
ニッテン共栄会	958	7.70
農林中央金庫	514	4.14
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.44
株式会社みずほ銀行	355	2.85
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社	320	2.57
DM三井製糖ホールディングス株式会社	265	2.13
スズラン持株会	251	2.02
INTERACTIVE BROKERS LLC	232	1.87

(注) 1. 当社は、自己株式2,872,818株を保有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。
3. 2025年4月1日付でDM三井製糖ホールディングス株式会社は、DM三井製糖株式会社に商号変更しております。

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	15,325,642株
株 主 数	15,410名

役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	石栗 秀
取締役	専務執行役員	木山 邦樹
取締役	常務執行役員	寺澤 秀和
取締役	上席執行役員	白畑 康
取締役	※	浅羽 茂
取締役	※	橋本 秀一
取締役	※	中村 規代実
常勤監査役		古賀 啓
常勤監査役		藤崎 裕之
監査役	※	増本 善丈
監査役	※	大井 素美
	常務執行役員	田村 雅彦
	上席執行役員	菊池 文夫
	上席執行役員	黒氏 信好
	執行役員	寺山 佳之
	執行役員	梶 明宏
	執行役員	鎌田 隆彦
	執行役員	伊藤 政貴

※社外取締役・社外監査役



株主各位

証券コード2108
2025年6月27日

東京都港区三田三丁目12番14号

日本甜菜製糖株式会社

取締役社長 石栗 秀

第127期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第127期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

- 第127期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第127期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記1.および2.の各内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき80円(普通配当50円、特別配当30円)と決定いたしました。

第2号議案

定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案

取締役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、白畑 康氏(新任)が取締役に選任され、就任いたしました。

第4号議案

監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、大井素美氏(新任)が監査役に選任され、就任いたしました。

なお、大井素美氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

第5号議案

補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、大井倫太郎氏が補欠監査役に選任されました。

なお、大井倫太郎氏は会社法第2条第16号に定める、補欠の社外監査役であります。

以 上

期末配当金のお支払いについて

- 口座振込をご指定でない方には、「第127期 配当金領収証」および「第127期 配当金計算書」をご送付申し上げます。
期末配当金は、同封の「第127期 配当金領収証」により、払渡期間(2025年6月30日から2025年7月31日まで)内に近隣のゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。
- 口座振込をご指定の方には、「第127期 配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」を同封しておりますので、ご確認ください。
なお、株式数比例配分方式を選択された方は、配当金のお振込先や確定申告を行う際の資料につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

以 上

株主さま製糖所見学会の実施について

株主さまに当社事業へのご理解をより一層深めていただくことを目的に、株主さま向け当社芽室製糖所見学会を2025年10月17日(金)に予定しております。詳細は、同封のパフレット「株主さま製糖所見学会のご案内」をご参照ください。

芽室製糖所



北海道河西郡芽室町東芽室基線26番地

〈株式に関するお問い合わせ先〉

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない
(特別口座に記録された) 場合

三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)に
お問い合わせください。

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-7111 [通話料 無料]

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

特別口座からの振替のお手続きはお済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。

特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせの上、お手続き願います。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <https://www.nitten.co.jp>

